

平成25年度 磐田市立豊田中学校 学校評価書

重点	目標・取組	評価指標	自己評価	考察・改善策	学校関係者評価委員から
「確かな 保学力 するを 学校	基本的な学習習慣の定着	生徒は、どの授業でも真剣に学習に取り組んでいるか。	A	○学習態度については、生徒、保護者、教師共に良好な評価をしている。 ※課題の提出が滞る生徒が見られ、家庭学習が習慣化するよう指導を充実させたい。	○自分が中学生だったとき、恥ずかしくてなかなか地域の 人に挨拶できなかったように 思う。思春期を迎える中学生 にとって、元気な挨拶はな かなか難しいのではない か。そう考えると、豊田 中の生徒は、挨拶をよ くしている方なのでは ないだろうか。 ○西部地区のある中 学校の生徒は、知らない 人に対してもとてもよく 挨拶できる。ノウハウを 学んでみてはどうだろ うか。 ○挨拶をしないお 子さんの家庭では、親 子間で挨拶をしている のだろうか。家庭でのし つけが、基本だと思 う。 ○掃除の評価につ いては、生徒の家庭の 状況によって、基準が まちまちになっている のではない か。どのあたりで「きれ いになった。」とする のか、学校の指導の中 で押えた方がよいと思 う。 ○アンケートを母 親が回答している家 庭が多いのではない だろうか。父親の教 育への参加を促したい。 ○雇用情勢により、共 稼ぎとなっている家 庭が多い。その結果、 教育に熱心になれない 家庭が増えているよう に思う。 ○不登校については、 本人への支援はもちろ んだが、受け入れる側 の学級生徒への指導も 必要だと思う。不登校 経験者の話を聞くと、 教室へ戻るときに視線 が気になるということ をよく聞く。
		生徒は、落ち着いて朝読書をしているか。	A	○朝読書は習慣化しており、静かな中で集中して読書に取り組んでいる。 ※今後も良書に親しめるよう、配架図書の実用や紹介をしていきたい。	
	基礎学力の定着	「とことんテスト」で、生徒の基礎学力は定着しているか。	A	○全国学力学習状況調査の結果から、基礎・基本が定着していることが読み取れる。 ※全ての生徒が最終的に合格できるよう、個別の学習指導を継続していきたい。	
	学ぶ意欲の向上	自ら課題を見つけ、追求する学習態度が見られたか。	B	○進んで先生に聞いたり、自分で調べたりして学習していると答えた生徒は74%であつた。 ※問題解決型の学習や言語活動の指導を通して、自ら学ぶ態度を育成していきたい。	
きれいな 学校	基本的な生活習慣の定着	生徒は、元気な挨拶ができていますか。	B	○96%の生徒が「進んで挨拶ができた。」と答えており、教師も「以前に比べてできるようになった。」と評価している。しかし、「自分から」という点では課題を感じる。 ※挨拶を返すから、自分から挨拶をするへ指導をシフトしていきたい。	○挨拶をしないお 子さんの家庭では、親 子間で挨拶をしている のだろうか。家庭でのし つけが、基本だと思 う。 ○掃除の評価につ いては、生徒の家庭の 状況によって、基準が まちまちになっている のではない か。どのあたりで「きれ いになった。」とする のか、学校の指導の中 で押えた方がよいと思 う。 ○アンケートを母 親が回答している家 庭が多いのではない だろうか。父親の教 育への参加を促したい。 ○雇用情勢により、共 稼ぎとなっている家 庭が多い。その結果、 教育に熱心になれない 家庭が増えているよう に思う。 ○不登校については、 本人への支援はもちろ んだが、受け入れる側 の学級生徒への指導も 必要だと思う。不登校 経験者の話を聞くと、 教室へ戻るときに視線 が気になるということ をよく聞く。
		生徒は、日ごろから品のある身なりをしているか。	A	○全体的に服装等の乱れは少なく、ほとんどの生徒が中学生らしい身なりである。 ※生徒会生活委員会による月1回の点検は生徒の意識を高くしており、これを継続する	
		生徒は、善悪を判断して、正しい行動をしているか。	A	○96%の生徒が「生活のきまりを守っている。」と答えており、保護者も同様である。 ※是々非々の指導を継続し、高い規範意識と実践力を育てていきたい。	
	よりよい人間関係づくり	生徒は、場面にに応じて、他人を思いやり、そっとアシストしたりしているか。	B	○思いやりの気持ちはあっても、どうしたらよいか分からない生徒が見られる。 ※他者を思いやることの大切さを指導するだけでなく、場面を捉えて望ましい行動を指導していきたい。	
		生徒は、場面にに応じて、自分や他人にやさしい言葉遣いをしているか。	B	○その場の雰囲気や一時の感情に流され、人を傷つけてしまったり、相手の事情を考えずに正論で友達を叱責したりする姿がしばしば見られる。 ※道徳の授業だけでなく、教育活動全体の中で指導していきたい。	
	豊かな活動の推進	生徒は、学校や地域のボランティア活動に積極的に参加しているか。	A	○78%の生徒が「学校内外のボランティアに積極的に参加している。」と答えており、地域での活動について市から表彰を受けた生徒もいる。 ※学校内外のボランティア活動を広報し、参加者をさらに増やしていきたい。	
		生徒は、美しい学校づくりのために、意識して清掃に取り組んでいるか。	B	○「清掃活動にしっかりと取り組んでいる。」と答えた生徒は96%だが、その一方、教師の評価は生徒ほど高くない。 ※美化委員会を活用し、掃除の仕方や黙勤について指導を進めていきたい。	
		授業や合唱コンクールの練習等で、明るい歌声が校内に響いているか。	A	○文化発表会ではどの学級も協力で合唱に取り組む姿がある。また、儀式的行事における歌声も明るく伸びやかである。 ※行事以外でも、年間を通して歌声が響く学級を増やしたい。	
	心と身体を磨く部活動	生徒は、部活動に粘り強く取り組んでいるか。	A	○「部活動は充実している」と答えた生徒は91%、保護者は85%である。 ※向上心がやや不足気味のため、個々の生徒に目標をもたせて部活動に取り組ませたい。	
	開かれた学校づくり	保護者関連行事や学年・学校だより等で、学校と家庭・地域との連携は深められてきたか。	A	○生徒の様子が学年だより等を通して伝えられることに、好意的な意見をいただいている。 ※学年だより等の各種たよりやホームページでの情報発信を定期的に継続したい。	

学校関係者評価を受けてのまとめ

○基礎・基本が一層定着するよう、継続して授業改善に取り組む。特に、言語活動を取り入れた授業実践を通して、思考力や判断力、表現力の向上に努める。

○学校生活全般において、生徒の話を丁寧に聞いたり、取り組みの過程と成果を振り返らせたりすることで、自尊感情や自己肯定感を高める。

○とことんテスト(基礎学力定着テスト)については、事後指導の時間を確保するとともに学級担任と教科担任とが連携して基礎学力の定着を図っていく。

○挨拶の向上は、小中一貫教育の柱の一つとして地域・小学校との連携を図る。生徒会活動、PTA活動、豊明会活動(健全育成会)をとおして、積極的な挨拶ができるように指導の充実を図る。

○ボランティア活動募集の告知や参加者の称揚により、一層の参加率向上を図る。また、民生委員や自治会長との懇談等をとおして、地域でのボランティア活動の状況を把握する。

○「きれいな学校」には、「心の美しさ」「環境面の美しさ」があることを生徒に自覚させる。不登校生徒数減少やいじめ防止のためにも、特に、心の面での「他を思いやりそっとアシスト」「やさしい言葉遣い」が実践できるよう、道徳の授業や行事での場面を捉えた指導をしたい。また、Q-U検査を用いて、個々の生徒の心情を把握する。